

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立なかとみ青少年自然の里	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	南巨摩郡身延町平須306	設置年月日 (改築年月日等)	昭和62年6月1日
指定管理者	身延町		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。自主事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	<p>○敷地面積 約15,000㎡    ○延床面積 約 1,500㎡</p> <p>《管理棟》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・談話室(29.81㎡)、食堂(105.126㎡)、医務室、</li> <li>トイレ[男女各1]、事務室・管理人室・倉庫</li> </ul> <p>《宿泊棟》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊室(28人、1F92.75㎡、2F40.79㎡)×1室</li> <li>・宿泊室(24人、1F72.87㎡、2F31.06㎡)×3室</li> <li>・リーダー室(2人、9.94㎡)×4室</li> <li>・浴室及び脱衣場(81.21㎡)[男女各1]</li> <li>・洗面所トイレ[男女各1]    ・障害者用トイレ    ・リネン室</li> </ul> <p>《キャンプ場》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炊事場[2]    ・バンガロー[2]    ・スペースキャビン[5]    ・トイレ[男女各1]</li> </ul>		
主な業務内容	<p>利用の承認に関する業務</p> <p>施設及び設備器具の維持保全に関する業務</p> <p>集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務</p> <p>地域における生活文化の経験学習に関する業務</p> <p>野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務</p> <p>野外活動及びレクリエーションに関する業務</p>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<p>身延町立陶芸工房:定員60人、和紙工房:定員50人、体育館(505㎡)</p> <p>山梨県立ゆずりはら少年自然の里:定員100人:H27利用者数 12,197人</p> <p>山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人:H27利用者数 18,228人</p> <p>山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人:H27利用者数 41,015人</p>
---------------------	--

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	本館宿泊利用	5,466	6,307	4,964	(平成28年3月31日をもって、指定期間が満了した。)
	キャンプ場宿泊利用	257	364	0	
	日帰り利用	1,168	980	1,201	
	利用者数合計	6,891	7,651	6,165	
	目標値	8,500	8,000	6,500	
	目標値設定の考え方及びその理由	平成27年度は閉所年度のため利用団体が他の施設利用への切り替えが見込まれるため1,500人減とした。			
	対25年度比	-	111.0%	89.5%	
	利用率(本館宿泊)	39.4%	43.2%	37.4%	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	(平成28年3月31日をもって、指定期間が満了した。)
	指定管理者委託料	29,924,000	30,096,000	30,096,000	
	その他	0	0	0	
	収入合計(A)	29,924,000	30,096,000	30,096,000	
支出	人件費	13,851,071	14,385,000	13,756,032	
	県への納付金	0	0	0	
	管理運営費	14,679,146	15,711,000	15,025,960	
	うち外部委託費(B)	6,466,903	7,242,000	6,856,397	
	支出合計(C)	28,530,217	30,096,000	28,781,992	
	収支差額(A-C)	1,393,783	0	1,314,008	
	外部委託比率(B÷C)	22.7%	24.1%	23.8%	
	利用者一人当たりの経費	3,911.1	4,630.2	4,881.8	

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:県立なかとみ青少年自然の里利用団体へのアンケート 回答数:59人(回収率:65%)
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満及び未記入
①利用料金	95.0%	0.0%	0.0%	5.0%
②申し込み方法	93.0%	0.0%	0.0%	7.0%
③宿泊棟備品・設備	78.0%	0.0%	0.0%	22.0%
④活動内容	85.0%	12.0%	0.0%	3.0%
⑤食堂の食事について	59.0%	20.0%	4.0%	17.0%
施設全般の満足度	88.0%	5.0%	0.0%	7.0%

利用者の意見	<p>1 安心して安全に対向車とすれちがいができるようになると良いと思います。</p> <p>2 大型バスでも直接乗り入れられるようにしてほしい。</p> <p>3 東京からでしたのでプログラム相談をFAX等にして頂けると有り難いです。</p> <p>4 人数の多い所はスタッフを増やしてもらった方が良い。七宝については、お手伝いしましたが一人では大変です。篆刻については、前の講師の方が良かった。説明も指導ももっと丁寧をお願いします。</p> <p>5 貸出用品の管理を丁寧にしてほしい。</p> <p>6 ハンガーが少ない。</p> <p>7 暑いときにはエアコンがあれば有り難かったです。</p> <p>8 朝食が高すぎる。時間に流動性がほしい。</p> <p>9 他団体と利用が重なる際にはお互いにマナーやルールを守ってほしいと思いました。</p>
利用者の意見への対応	<p>1 町道の幅員拡張は難しいが、草刈や枝払いなどを行い通行がしやすい状況に努めた。</p> <p>2 平成25年度に里から700メートルの位置に大型バス駐車場を確保した。</p> <p>3 申込みの際にプログラム相談来所の説明を行っている。また、他団体との施設利用の調整や施設を理解してもらう必要があるため来所してもらっている。</p> <p>4 スタッフが行うのではなく、利用者がより多くの体験ができるように参加者に指導している。意図が伝わるように事前の説明を行うようにした。指導方法について、職員間で聞き取りにくい点や指導内容について話し合いを行った。</p> <p>5 貸出用品の管理について、写真掲示を行い管理しやすい環境を作った。</p> <p>6 ハンガーは各ロッカーに3個セット済み。</p> <p>7 入所時に窓やカーテンでの室温調整の説明を行っている。</p> <p>8 朝食514円、他施設と比べて高すぎることはないが、食堂業者に献立について検討するよう依頼した。</p> <p>9 指定された時間内での活動が原則なので理解をお願いしている。プログラム相談の際、利用団体が顔を合わす機会を作り、互いに協調するような雰囲気づくりを行った。事前の説明で理解をお願いしている。</p>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に点検を行い、必要に応じて修繕を行った。 食堂業務や郷土食体験でのアレルギー対応は、利用者の要望に可能な限り応じるように努めた。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。
運営業務	日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験・郷土食体験等を利用者が自ら進んで行えるよう、指導や支援の工夫、改善を行った。	施設運営については、事業報告書や現地確認から適正に業務執行されている。
利用状況	閉所について機会あるごとに伝達したためか、早目の施設変更を行った団体もあり、利用団体は昨年度より9団体、延べ1,486人の減となった。宿泊棟利用は12団体、延べ1,343人減。キャンプ場利用は5団体、延べ364名の減。逆に閉所前に利用したい団体などがあり日帰り利用は8団体、延べ人数221名の増となった。	平成27年度をもって閉所することにより、利用者が減少したことはやむを得ないが、自主事業の利用者や閉所前に利用したい日帰りの団体を増やした点は評価できる。
収支状況	利用者減少に伴い光熱水費や燃料費などが減った。また、経年劣化による破損箇所が増えたため修繕費が大きく伸びたが、概ね計画通り執行することができた。	光熱水費、燃料費等が減少したが、修繕費が増加したことにより、概ね計画どおりの執行となった。
自主事業	家族や個人でも参加できる事業を行うことにより施設の周知と利用者拡大を図った。閉所前に利用したい方や新たな内容の事業を行ったことにより参加者335人で昨年度を87人上回った。また、参加者の中から団体利用に繋がるケースもあった。	団体参加型の自主事業から家族や個人でも利用できる事業を増やしたことにより、昨年度を上回ったことは評価できる。
利用者満足度	施設までのアクセスへの改善を望む声もあったが、閉所を惜しむ声や施設の再開を望む声も多くあり、施設の満足度は高い結果となっている。利用者が里での時間を気持ち良く満足して過ごしてもらえるように、職員間で話し合い活動内容の工夫、改善を行った。	施設は設置からかなりの期間経過し老朽化しているが、施設全般の満足度が90%を超えていることは評価できる。
運営目標の達成状況	H27 利用者目標値 6,500人、実績6,165人 H27 自主事業参加者数目標値 452人 実績335人 機会あるごとに閉所を伝えたことから、早目の施設変更を行った団体もあり、宿泊棟利用は12団体の減となった。また、キャンプ場利用もなく5団体の減。閉所前に利用したい団体などがあり、日帰り利用は8団体の増となったため目標値に近い利用者数となった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については概ね適正に実施されている。 平成27年度をもって閉所することから利用者数が大幅に減少することはやむを得ないが、日帰り利用者が目標値に近い数になったことや自主事業参加者数が前年度を上回ったことは評価できる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	(平成28年3月31日をもって、指定期間が満了した。)	

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

